

# 令和7年度 富士見市 小中一貫教育の取組



←小中一貫教育の市マスコットキャラクターのロゴが完成しました！

## 概要版

○富士見市が目指す小中一貫教育とは…

- ・ 6つの中学校区を単位として、既存の校舎を活用した施設分離型で取組を推進します
- ・ 義務教育9年間を見通した系統性・継続性のある教育を行います
- ・ 小中学校教員間が細やかに連携することで、中学校進学時の不安を解消し、不登校児童・生徒の減少を目指します



『学び合い 人がつながり一人ひとりが輝く 富士見の教育』の実現

○令和7年度の取組

- ・ 全中学校区で取り組む小中一貫教育の方向性を「7つの柱」として整理し、各学校区の実態に応じて取り組みました

## 富士見市小中一貫教育推進の『7つの柱』

### 小中一貫教育の目指すゴール

◎義務教育9年間を見通したカリキュラムによる小中一貫教育の推進  
○児童生徒の学力向上や心身の健全育成 ○教職員の指導力の向上 ○地域と共にある学校づくり

#### ④カリキュラム編成

【取組例】

- 育てたい力・重点化を図る教科の設定
- 9年間を見通したカリキュラムの作成

#### ①小中一貫推進協議会

- (各校管理職・主幹教諭・教務主任等で構成)
- 方針に関すること
  - 取組に関すること
  - 家庭や地域の教育力の活用に関すること

#### ⑦家庭・地域との連携

【取組例】

- 小中合同コミュニティスクール
- 地域行事への参加

#### ②目指す子ども像・重点目標の設定

#### ③教科指導の充実

【取組例】

- 相互授業参観・協議
- 小中合同研修会

#### ⑤特別活動

【取組例】

- 特別活動(学校行事・児童会生徒会・委員会・クラブ活動)交流

#### ⑥生徒指導

【取組例】

- 生徒指導主任による情報共有
- スクールカウンセラー訪問

市全体の取組

指導力向上研修会

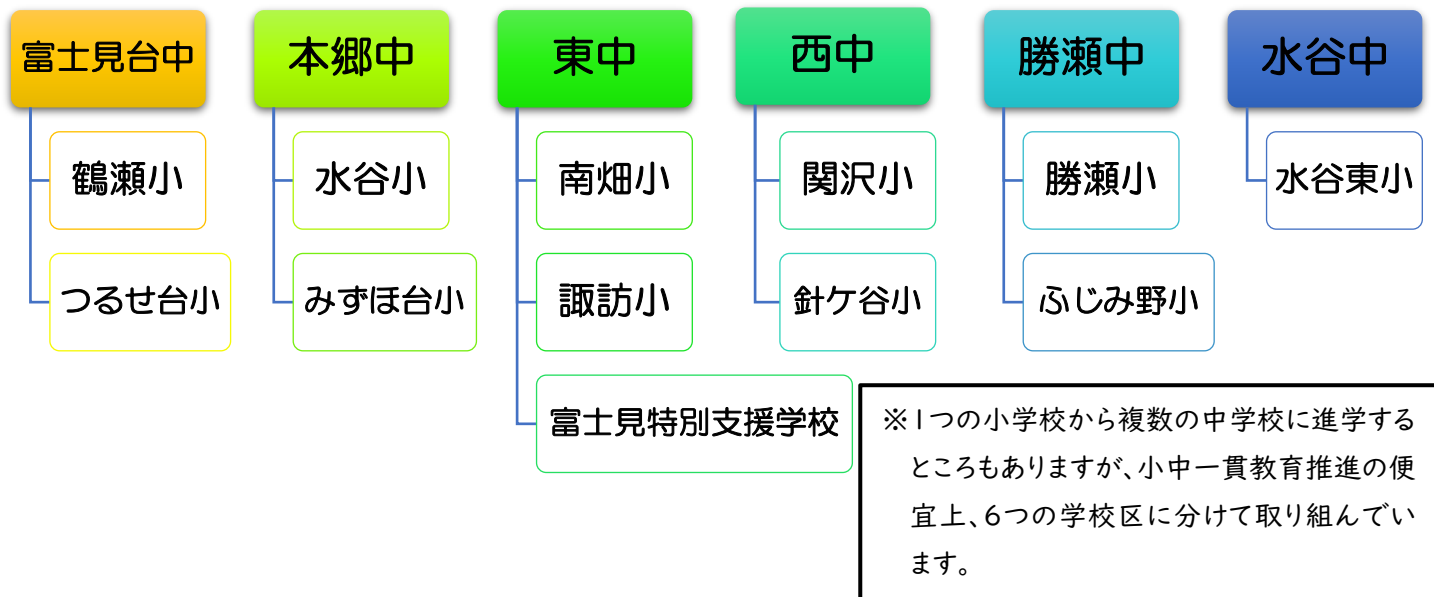
いのちの授業+(プラス)

いじめのない学校づくり子ども会議

### 令和6年度の成果と課題

○活発な児童生徒間交流を通して中1ギャップの低減に効果を上げている ▲教員同士の交流には学校区格差が見られる

## 【富士見市の中学校区】



## 【各学校区の今年度の取組】

### ★富士見台中学校区★

#### 【児童生徒間交流】

富士見台中学校の生徒が、鶴瀬小・つるせ台小に行き、あいさつ運動を行いました。両小学校でも、あいさつ運動は行っていますが、中学生が参加し、元気にあいさつすることで、小学生の見本となり、あいさつ運動に活気が生まれました。

#### 【教職員の資質向上】

今年度の重点目標である不登校や「いのちの授業+（プラス）」について、教科・領域等に分かれ、現状や課題、解決策について協議しました。各グループで学校間の垣根を越えて、活発な協議が行われ、協議内容は各校で共有し、2学期以降の取組に生かすことができました。



小中一貫合同研修会

### ★本郷中学校区★

#### 【児童生徒間交流】

水谷小の6年生が本郷中学校を訪れ、バトンの受け渡しや身体づくり運動などを行いました。

#### 【教職員の資質向上】

本郷中学校の教職員がみずほ台小学校を訪れ、授業を見学したあと、児童の情報交換を行いました。



バトン受け渡し練習

## ★東中学校区★

### 【児童生徒間交流】

富士見特別支援学校「ワンダフルコンサート」では、南畑小鼓笛隊、東中吹奏楽部も演奏し、音楽を通じて3校で交流を図ることができました。みんなで一緒に歌い、笑顔が広がりました。



4校合同授業公開

### 【教職員の資質向上】

今年度、4校合同の授業公開を、南畑小を会場として実施し、南畑小学校の全学級の授業を公開し、諏訪小・東中・特別支援学校の教職員が参観しました。その後の協議会では、『児童生徒の自己肯定感の向上』をテーマに、小グループで協議を行い、校種を超えて意見交換を行いました。

## ★西中学校区★

### 【児童生徒間交流】

西中学校の生徒と各小学校の代表児童による小中合同あいさつ運動を行いました。校門で先輩たちが温かい笑顔としっかりとしたあいさつで児童を迎え、代表の児童も先輩たちを見習うように日ごとにしっかりとしたあいさつができるようになり、学校中にあいさつの輪を広げることができました。



小中合同あいさつ運動

### 【教職員の資質向上】

SNS と子供たちの現状について、イムス富士見総合病院の森内優子氏にご講演いただきました。講演内容をもとにグループ協議を行い、西中学校区における課題を教員間で共有し、小中学校で取り組める方策を検討しました。また、参加した保護者からも忌憚のない貴重な意見をいただくことができました。

## ★勝瀬中学校区★

### 【児童生徒間交流】

小中合唱交流会では、勝瀬中の各学年の銀賞になったクラスの合唱、ふじみ野小・勝瀬小の6年生の合唱をお互いに聞き合いました。小学生にとっては、中学生の迫力を肌で感じる事ができ、中学校での行事のイメージをもつことができただけでなく、他校の合唱を聞くことも刺激となっていました。



夏季休業中の合同研修会

### 【教職員の資質向上】

年間3回の交流を行い、1学期はふじみ野小・勝瀬小の職員が勝瀬中の授業を参観し、部会ごとに年間計画を立てました。夏季休業中には、合同研修会で各校の進捗を確認し、2学期の終わりにそれぞれ学校の取りまとめをし、3学期に勝瀬中の職員がふじみ野小・勝瀬小に分かれ授業を参観し、その後部会の取組発表し今年度の活動のまとめを行いました。

# ★水谷中学校区★

## 【児童生徒間交流】



3年生による「成果発表」

3月3日(火)1学年・2学年の授業参観と全ての部活動の見学を行いました。水谷小学校から123名、水谷東小から37名の6学年児童が、中学生の活動を熱心に見学していました。

## 【児童生徒間交流】

3月3日(火)水谷小学校で、中学校3年生が1年間学習してきた防災教育についての成果発表会を行いました。中学生の説明を真剣なまなざしで聞く小学生の様子が見られ、地域の防災意識が高まりました。

## 【その他の取組】

### ○指導力向上研修会の実施

8月20日～27日にかけて、下関市立大学の中林浩子教授を講師として招聘し、中学校区ごとに研修会を開催しました。『9年間を見通したこれからの時代を生きる学習者の育成』を研修テーマに、多様な児童生徒への理解及び支援・指導方法について校種間を超えて語り合い、2学期からすぐに実践できる学級経営の在り方について考えを深め、指導力の向上を目指しました。



研修会における校種を越えたグループ協議

### —参加者の感想より(一部抜粋)—

次の指導要領のポイントである「自己調整」ができる子どもを育てること。そのために、個別最適な学びを実現できる環境を用意してあげることなど、頭の中が整理されました。子どもを変えるのではなく、自分が変わるということを肝に銘じて、8月25日から子どもの前に立ちたいと思います。(小学校教員)

「環境」というキーワードで話を伺い、生徒にとって環境がいかに大切かということがよくわかりました。また、他の先生からの質問も、同じ疑問を持っていたものもあったので、大変参考になりました。他の学校の先生とも一緒に考える場面が何度もあり、それも楽しかったです。もっとお話を伺いたいと思いました。(中学校教員)

特別支援教育に関する話を織り交ぜながらお話いただき、イメージをもって聞くことができました。今後の指導や授業づくりの参考にしていきたいと思います。(特別支援学校教員)

### ○小中一貫教育だよりの発行

小中一貫教育だよりを定期的に発行し、富士見市内の小中一貫教育の取り組み状況や本市が目指す小中一貫教育の在り方について、市内の教職員向けに紹介・提案をしていきました。小・中・特別支援学校の垣根を超えた9年間の義務教育を見通した教育の在り方について、一緒に考えていくきっかけとなる紙面づくりを目指しました。

